

焦点化した取組で教育活動の充実を目指します!!

先日、今年度の学校の重点的な取組を教育委員の方々に説明する機会がありました。昨年度の成果と課題を踏まえ、生徒の充実した活動へと導くよう取組を進めていきます。以下は、1～4の取組の柱に従って取組をまとめたものです。特に、今年度は、本校の特色を生かして、テーマ「人を育てる」のもと、300人を関わらせながら育てることができる学校として、「羽中プロジェクト」など豊かな心を育む取組を通して**生徒**を育てていきます。また、もう1つの人は、私たち**教員**であり、複数の教員による教科部会が成立する学校として、教員相互が学び合うことで授業力向上を図っていきたいと考えています。



今年度の取組の重点

1 学力向上のための取組

- (1) 生徒に学び方や学ぶ内容を委ねる時間を授業に設定する。
- (2) 「生徒に委ねる時間」を意識して、授業改善を行う。
- (3) 学校研究の取組を協議するための視点を設定し、生徒の学びの様子を見取る。
- (4) 毎朝10分間「基本タイム」として設け、基礎・基本の定着を図る。
- (5) 「週課題」を出題し、家庭学習の習慣化を図る。

2 英語教育推進のための取組

- (1) 英語検定取得率向上に向けた取組
 - ① 「音読メーター」を導入し、授業や家庭学習に活用し、「聴く・話す」力を向上させる。
 - ② 学期に1回、学年に応じたテーマで英作文に取り組み、「書く」力を向上させる。
 - ③ 各学年のフロアに「English Space」を設置し、英語への興味関心を高める。
 - ④ 英語検定の2次試験対策として、英語科教員、ALTによる面接練習を実施する。
- (2) 英語を学ぶ意欲を向上させるための取組
 - ① 2年生を対象にし、2・3学期にそれぞれ1回ずつ「English Career」を開催する。
 - ② 1年生を対象にし、2学期中に「Global Gateway」を開催する。

3 Hakuism DIvE2.0 推進のための取組 ※Hakuism DIvE2.0:羽咋市が進めるICT活用サイト

- (1) デジタル教科書等を用いて、導入や課題設定の工夫をする。
- (2) 生徒が自らの学びを客観的に捉えられるよう振り返りの時間を設け、学びを蓄積させる。
- (3) デジタル教科書を活用した授業の実践を積み重ね、教師間で共有する。
- (4) 毎週水曜日を「タブドリ DAY」として、家庭でタブドリに取り組む。
- (5) 生徒が学び方を学ぶアイテム（動画等）を各教科でスタディーDIvEにアップする。

4 特色化・ブランド化の取組

- (1) 「羽中プロジェクト」を実施し、地域の魅力に気付き、伝える活動を充実させる。
- (2) 毎月2回10分間の対話タイム「羽トークタイム」を実施し対話力アップをめざす。
- (3) 朝読書週間を設定し、全校生徒が電子図書等を用いて読書をし、活字に親しむ。
- (4) 教科部会を機能させ、授業実践を交流するなど、互いの指導力を高め合う。

必勝！能登地区大会（県体予選）

いよいよ6月14日（土）から能登地区大会（県体予選）が始まります。春の大会以降、個人やチームの弱点を克服し、力を高めてきました。競技によっては、この大会で県体の出場権を獲得できなければ、3年生は引退となってしまいます。3年間の部活動の集大成として、一戦一戦を大切に全力で試合に臨んでほしいと思います。まずは、県体出場の切符をつかみ取り、北信越大会、全国大会など上位の大会を目指して力を出し切り、悔いのない試合をしてきてくれることを願っています。

保護者の皆様には、ぜひ、懸命にプレーする生徒の雄姿に熱い声援をお願いします。全能登大会の日程は、以下のとおりです。

＜大会開催予定日＞

日	曜日	野球	ソフト テニス (男)	ソフト テニス (女)	バスケット ボール (男)	バスケット ボール (女)	バレー ボール (男)	バレー ボール (女)	卓球 (男)	卓球 (女)	剣道	弓道	バドミ ントン
14	土											○	
21	土	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○
22	日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○

※会場、試合時間等の詳細については、各部顧問よりお知らせしますので、ご確認ください。



学校内外の行事から

☆ 生徒総会（5／1）

前期の生徒総会を実施しました。各専門委員会の委員長から活動方針などが提案され、承認されました。学校の様々な活動を通して、他と協力して課題を解決しながら、誰にとってもよりよい学校生活となるよう努力を続けることの大切さを改めてお願いしました。



☆ 羽咋郡市大会（5／3・10）

能登地区大会の前哨戦とも言える郡市大会が行われました。男女別の団体優勝が9競技となり、素晴らしい成績を収めてくれました。チームとして、また個人としての弱点を克服し、次の目標である能登地区大会に臨んでほしいと思います。結果の詳細については、本校HPに掲載してありますのでご覧ください。

☆ 学習オリエンテーション（5／7）

第1回学習オリエンテーションでは、今年の授業のテーマである「委ねる授業」について、生徒たちと共有し、共通理解を図りました。教師は生徒に委ねる場面を提供し、生徒は他と協働して課題を解決していく力を身に付けていくことがねらいであることを伝えました。

☆ 避難訓練（5／26）

理科室から出火したとの想定で実施しました。火災時の注意として、煙に注意することに加えて、地震や津波発生時に自らの命は自ら守る行動が大切であることを再確認しました。

☆ 職場体験活動事前学習（5／30）

来月に予定されている2年生の職場体験学習の事前学習を行いました。この日は、ジョブカフェいしかわの森田さんを講師にお迎えし、働くことの大切さや接遇についての講話をしていただきました。



編集後記

人間は「忘れる生き物」だそうです。エビングハウスの忘却曲線を持ち出すまでもなく、暗記が苦手だった私にとっては、身をもって経験した事と言えます▼人間は1日後に記憶したことの約74%は忘れてしまうとのデータがあるそうです。そこで、24時間以内に復習したり、1週間以内に少し見直しをしたりするなど、いわゆる「ドリル学習」を繰り返すことで効果的な定着が図られるとのこと。「この情報は大切な情報だよ」と、記憶を司る私たちの脳の「海馬」に働きかけることが大切であることを教師になってから知りました▼忘れてしまうことが前提であれば、生徒たちには身に付けるための学習のやり方が、自ずと見えてくるはずだと思うのですが…。(宮下)